［有明抄］（2018.4.23）

○県内に外国人が急増している背景・要因はなんですか。

○関連記事［2017.12.4 付］を参考にして県内の外国人の状況についてまとめよう。

○外国人が安心して暮らせるようするためにはどんなことが大切だと思いますか。

新聞を通して地域の歴史を学ぼう！
さが維新塾

年　組　号（氏名）

○今日の有明抄にタイトルをつけてみよう。

有明抄

ベトナム国籍の多久市の男性が、運転していたフォークリフトの下敷きになって死亡した。先月、社会面に記事が載っていた。男性は31歳。外国人技能実習生として昨年12月に来日していた◆異国の地での事故。男性には、ふるさとベトナムに残した家族がいたかもしれない。あるいは、佐賀に連れてきた家族がいたかもしれない。男性と面識はないが、そんな想像をすると、突然、命を絶たれた無念を思う◆企業の人手不足などを背景に外国人が急増しているという。佐賀県では6千人を超える外国人が暮らす。増加率は全国トップ。その要因に技能実習生の増加があるそうだ。佐賀県内の実習生は2千人近くにのぼる。国籍別ではベトナム、中国、フィリピンなどが多い◆不慣れな土地での生活。ごみ出しひとつとってもマナーやルールが違う。言葉による意思疎通がうまくできず、戸惑う人も多かろう。全国の実習生の中には、労災による死亡と認定された人もおり、その比率は日本の雇用者全体の比率を上回る◆実習生には失踪した人もいる。最近、就労資格の拡大を検討する話も出ているが、受け入れの整備は進んでいるのだろうか。志半ばで、思わぬ事故や事件に巻き込まれることがあっては、悲しみだけが残る。外国人が安心して暮らせる仕組みを職場、地域で考えていきたい。（丸）

35　30　25　20　15　10　5